

http://www.dobokukanri.co.jp/



ドボク管理 **アルコールチェック**

特 地域の豊かな資源 集 留辺蘂の白花豆

株式会社ドボク管理

安全運転管理者の

※アルコール検知器を用いた酒気帯びの有無確認

※アルコール検知器を常時有効に保持 ※令和5年12月1日より義務化

(道路交通法施行規則の改定により)

警察庁 WEB サイトより

https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/insyu/index-2.html



一定台数以上の自動車を使用する 自動車の使用者は、自動車の使用の 本拠(事業所等)ごとに、自動車の 安全な運転に必要な業務を行う者と して安全運転管理者の選仟を行わな ければなりません。安全運転管理者

は、自動車の安全な運転を確保するために、事業所等の 業務に従事している運転者に対する安全教育や、自動車 の安全な運転に必要な業務を行わなければなりません。

業務使用の自家用自動車における飲酒運転防止対策を 強化することを目的として、令和3年の道路交通法施行 規則の改正により、

- ① 安全運転管理者に対し、目視等により運転者の酒気帯 びの有無の確認を行うこと及びその内容を記録して1年 間保存することを義務付ける規定(令和4年4月1日か ら施行)
- ②安全運転管理者に対し、アルコール検知器を用いて運 転者の酒気帯びの有無の確認を行うこと並びにその内容 を記録して1年間保存すること及びアルコール検知器を 常時有効に保持することを義務付ける規定が設けられま した。

このうち②の規定については、令和5年の道路交通法施 行規則の改正により、令和5年12月1日より施行する こととされました。

「アルコール検知器を用いた運転者の酒気帯びの有無 の確認、及び記録の保存」については、当社は令和4年 4月1日より取り組んでおりましたが、いよいよ令和5 年12月1日より義務化されました。先行して行ってい たこともあり施行日から、ミス・トラブルもなく実施さ れています。



警察庁「飲酒運転取り組み強化」のパンフレット



警察庁「飲酒運転取り組み強化」のパンフレット

■出張時の測定手順









社用車 1 台につき ALC 測定器を 測定機器に S Dカードが挿入さ 測定器を使う職員それぞれに使 使い捨てストローと接続してい 1 台購入している。出張時には れているかを確認する。

一人につき S Dカード 1 枚が必 要なため同行出張者は相互に声 をかけ S Dカードを忘れない。

い捨てストローが用意されてい る部分を押さえて呼気を吹き込

み測定、会社に戻った際に PC に記録する。

白花豆(しろはなまめ)とは

「白花豆(しろはなまめ)」という豆を知ってい ますか。正式名は「ベニバナインゲン」といい、 インゲンマメとともにインゲンマメ属に属し、 双方を合わせて単に「いんげん」と総称する場合 があります。

インゲンマメ属は、豆のサイズや色、柄が多種 多様あり、代表的なものは、金時豆、うずら豆、 大福豆(おおふくまめ)、白花豆、紫花豆、とら豆、 手亡、レッドキドニーなどがあります。

国内の主な産地は北海道です。多くがあんや和 菓子、煮豆、甘納豆の原材料として使われています。 残りは乾燥豆として流通し、家庭料理に使われて います。

マメ科 インゲンマメ属

インゲンマメ

(白色系)

手亡、白金時豆、大福豆、グレートノーザン、 ネイビー、カンネリーニ

(着色系、単色)

金時豆、レッドキドニー、ブラックタートル (着色系、斑紋入り、普斑)

うずら豆、クランベリー、ピント、カリオカ (着色系、斑紋入り、偏斑)

ベニバナインゲン

白花豆、紫花豆

ライマメ

バタービーン、ベビーライマ、ラージライマ、 サルタニビア

白花豆の生産で日本一の町

北見市留辺蘂町地区は、全国の生産量の約 7 割を 占める日本一の産地です。作付面積も日本一。白花 豆は白く可憐な花が咲き、純白の豆を実らすこと から「豆の女王」と呼ばれ、高級菜豆として扱われて います。そのツルは3m以上に伸び、産地が広がる国 道 39 号沿いには、夏は紫花豆の赤い花とともに、白 い花が咲き誇り、秋にはブルーやオレンジのテントの 帽子が被せられた「にお積み」が点々と連なる姿に変 わります。

留辺蘂町地区で白花豆の栽培が行なわれるように なったのは 1955 年頃からで、冷涼な気候が適してい ることから白花豆の栽培は地域に普及し、全国生産の 約7割を担うようになりました。留辺蘂町地区ではさ まざまな料理やスイーツに活用されています。

(北見市商工観光部観光振興室観光振興課 「おかわりきたみ」より)

白あんは隠元豆(いんげん豆)で 作ります。

いんげん豆(インゲンマメ属)はいくつかの種類が あり、比較的大きな粒である白花豆や大福豆もいん げん豆の一種です。煮豆に使うことが多いため、スー パーでよく売っています。でも安価なものは中国産の ようです。それに対して、いんげん豆の一種である手 亡豆は、小粒のためか、煮豆としては使われずに主に 白あんの原料として使われており、一般のスーパーで はあまり見かけません。アレンジレシピとしては、白

「「寒かじゆ

(ドカン編集長:豊原 元)



今回の取材にご協力頂いた関係者の皆様方にお礼を申し上げますと共に、紙面の都合上満足な内容をお届けできず、お詫びを申し上げます。ここで紹介できなかったものは弊社HPに順次掲載予定です。 http://www.dobokukanri.co.jp/ ●誌面の情報は当社職員が独自に取材したものです。発行責任者:上村幸司(専務取締役)、編集長:豊原 元(札幌支店) 制作:ドボク管理 地域情報誌編集室(〒090-0837 北見市中央三輪8丁目16番地7 TEL.0157-36-2233 FAX.0157-36-2220)

白花豆のムース

購入先:ふじや菓子舗(留辺蘂)

購入先:パラボ(北見)